

## 引用文献

- 足立美由紀,足立明子,東窪照美他.(2002).遷延性意識障害カナに対する五感刺激の有用性  
状態・反応スケールを用いて.三田市民病院誌,14,55-62.
- 赤松昭,小澤温,白澤政和.(2000).脳損傷者とその家族の困難に関する研究-家族の介護負担  
と現行制度の問題点.脳損傷者とその家族に対する調査研究委員会.
- 青木頼子.(2014).意思疎通が困難な高齢者を支える家族の代理意思決定に関する文献レビ  
ュー.富山大学看護学会誌,14 (2) ,131-144.
- Elwyn, G., Frosch, D., Thomson, R., et al. (2012).Shared decision making: A model for clinical  
practice. *Journal of General Internal Medicine*,27(10), 1361-1367.
- 二神真理子,渡辺みどり,千葉真弓.(2010).施設入所認知高齢者の家族が事前意思代理決定を  
するうえで生じる困難と対処プロセス.老年看護学,14 (1) ,25-33.
- 日高紀久枝,紙屋克子,林裕子.(2012).在宅遷延性意識障害者の QOL 向上を目的とした支援  
の在り方に関する研究平成 21~23 年度総括・分担研究報告書,厚生労働科学研究費補  
助金障害保健福祉総合研究事業.
- Hidaka,Kikue.Kamiya,Katsuko.(2003).Development of a Nursing Support Method for the  
Improvement in QOL of a Person with Prolonged Disturbance of Consciousness:The 3rd  
Report:Assessment of a Nursing Program,The Society for Treatment of COMA12,99-  
104.
- 包行志保,前田由紀美,渋谷ルミ子. (1995) .意識障害患者の看護 看護の視点 遷延性意識障  
害者の看護 五感刺激による意識障害の改善と昼夜リズムの獲得を試みて,看護技術,41  
(1) ,45-50.
- Jennett B,Plum F:Persistent.(1972).vegetative state after brain damage.A syndrome in search  
of a name.*Lancet* ,1,734-737.
- Kamiya,Katsuko.Hidaka,Kikue.Hayashi,Keiko.et al.(2002).Development of a Nursing  
Support Method for the Improvement in QOL of a Person with Prolonged Disturbance  
of Consciousness:The 2nd Report:Examination of a New Nursing Program.The Society  
for Treatment of COMA,11,95-98.
- 紙屋克子.(2003).意識障害患者の看護プログラムの開発と実践 QOL を重視した意識障害  
患者へのケア エビデンス構築につなげる実践.*EBNursing*,3(2),9-16.

- 川崎優子.(2015).がん患者の意思決定プロセスを支援する共有型看護相談モデルの開発.日本看護科学会誌,35,277-285.
- 厚生労働省.(2007).人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン.  
<https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10800000-Iseikyoku/0000197721.pdf>.
- 厚生労働省.(2011).平成22年度障害者総合福祉推進事業の訪問系サービス利用者のサービス利用、状況等の実態把握による調査, p251-252,  
<https://www.mhlw.go.jp/bunya/shougaihoken/cyousajigyoku/dl/seikabutsu23-1.pdf>.
- 宮田久美子,林裕子.(2013)日本の遷延性意識障害患者への看護に関する文献調査,看護総合科学研究会誌,14(2) 3-16.
- 中野美穂,中尾理絵,熊本春江,佐藤美貴子,東めぐみ.(2006).遷延性意識障害者の信号を敏感に感じ取る直観と直観に裏付けられた看護行為.日本看護学会論文集,成人看護II,37,465-467.
- 祢宜佐統美.(2011).経管栄養を導入した在宅要介護者の家族介護者の思い インタビューを通して家族による代理意思決定のあり方を考える.岐阜医療科学大学紀要,5,41-52.
- NHS.(2007).Advance Care Planning:AGuide for Health and Social Care Staff,  
<https://www.ncpc.org.uk/sites/default/files/AdvanceCarePlanning.pdf>.
- 大久保暢子,菱沼典子.(1998)背面解放座位が自律神経に及ぼす影響.臨床看護研究の進歩,10,53-59.
- 大坂和可子,中山和弘.(2014).医療者と患者が一緒に決める方法 コミュニケーションと意思決定,ヘルスリテラシー健康を決める力,  
[http://www.healthliteracy.jp/comm/post\\_24.html](http://www.healthliteracy.jp/comm/post_24.html),(20190112Access).
- 園田芳美,石垣和子.(2009).明確な意思表示のできない終末期高齢者と家族のターミナルケアにおける意思決定に関する訪問看護支援.老年看護学,13(2),72-79.
- 鈴木二郎,児玉南海雄.(1976)植物症患者の社会的背景と今後の問題.神経研究の進歩,29(5),181-189.
- 高澤洋子.(2008).在宅ケアにおける意思決定の支援 看護師だからできること.国際ナースレビュー,31,29-32.
- 辻恵子.(2007).意思決定プロセスの共有概念分析,日本助産学会誌,21(2),12-22.
- 内田富美江.(2001).岡山県下における遷延性意識障害者の療養生活と介護者の現状.川崎医

療短期大学紀要,21号,93-97.

社団法人老年医学会.(2012).高齢者ケアの意思決定プロセスに関するガイドライン 人工的水分・栄養補給の導入を中心として.

[https://www.jpn-geriat-soc.or.jp/proposal/pdf/jgs\\_ahn\\_gl\\_2012.pdf](https://www.jpn-geriat-soc.or.jp/proposal/pdf/jgs_ahn_gl_2012.pdf)(20181228Access) .

安塚則子他.(2015).訪問看護師が実践する家族介護者への代理意思決定支援-胃瘻増設の決定を支援した訪問看護の事例.家族看護学研究,20(2) 68-78.

## 参考文献

- 井部俊子,大生定義 (2015) 専門看護師の思考と実践,医学書院,180
- 川崎優子. (2017) .看護師が行う意思決定支援の技法 30-患者の真のニーズ・価値観を引き出すかわり.医学書院,126
- 中山和弘 (2012) 患者中心の意思決定支援—納得して決めるためのケア.中央法規出版,199
- 西川満則,長江弘子,横江由里子 (2016) 本人の意思を尊重する意思決定支援 事例で学ぶ  
アドバンス・ケア・プランニング.南山堂,229
- 吉武久美子 (2017) 看護師のための倫理的合意形成の考え方・進め方.医学書院,124